

保健環境研究所空調設備更新工事(その4) 工事概要

1 事業概要

保健環境研究所は平成9年に完成し約25年が経過した施設であり、平成30年から4期に分け空調設備の大規模改修を行っており、経年劣化による機器の性能低下や故障率の増加を改善することを目的として、保健環境研究所の空調設備を更新する工事である。

- (1) 建 物 用 途 : 研究所途
- (2) 構 造 ・ 階 数 : 鉄筋鉄骨コンクリート造・5階
- (3) 延 床 面 積 : 7,384.41
- (4) 関 連 工 事 : 電気設備工事

2 当工事内容

- (1) 工 事 名 : 保健環境研究所空調設備更新工事(その4)
- (2) 工 期 : 令和4年7月7日から令和5年2月28日まで
- (3) 工 事 費 : 94,114,900円
- (4) 工 事 内 容 : 保健環境研究所における空調設備更新工事(4期目)
 - ・ 空気調和機
 - ・ 換気設備
 - ・ 自動制御設備
- (5) 事 業 部 署 : (所 管) 保健医療局保健環境研究所
(設計・監督) 環境局施設部施設課
- (6) 請 負 者 : 進興設備工業株式会社
代表取締役 井手口 富彦
- (7) 特に顕著な事柄
 - ・ 突発的な試験業務等のスケジュール調整に対応するため、1週間に1回工程打ち合わせを実施し保健環境研究所側の要望にも柔軟に対応し、円滑な施工に努めた。
 - ・ 試験室の作業の際に精密機器の一時移設や、養生を行い、精密機器の破損、故障の防止に努めた。
 - ・ 作業範囲外においても、工事に伴う粉塵や埃が侵入しないよう間仕切り扉を設置するなど、試験業務に与える影響を最小限になるよう努めた。
 - ・ 安全性や施工性向上のため、机などの機材を受注者で一時移設させ、職員の負担に配慮した。
 - ・ 空調ドレン配管の接着忘れ防止対策を二重に行うなど、品質向上に対する高い意識がみられた。

3 位置図



4 工事完成状況

● 外 観(全体)



● 空調設備:ビル用マルチエアコン室外機(屋上)



● 空調設備:室内機(洗浄培地作製室)



● 空調設備:エアハンドリングユニット(一階機械室)



● 空調設備:室内機(病理血清試験室)



● 換気設備(エレベーターホール)

